



福岡県医発第 1166 号 (地)
平成 29 年 8 月 1 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

「透析患者への投薬ガイドブック 改訂 3 版」について (ご案内)

今般、株式会社じほうより、別添のとおり「透析患者への投薬ガイドブック 改訂 3 版」の書籍に関し会員特価で購入いただける旨、案内が参りましたので、貴会会員に周知いただき、別紙申込書により、**平成 29 年 8 月 31 日 (木) までに貴会にて取り纏めの上、直接、株式会社じほう (FAX : 0120-189-015) にお申込み下さい**ますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 会員価格での販売は、平成 29 年 8 月 31 日 (木) までのお申し込みとなります。
- 2) 送料については、貴会への一括送付の場合のみ無料となります。
- 3) 会員へ個別発送の場合は、送付先リスト (氏名、住所、電話番号、各書籍の部数) を FAX (0120-189-015) 又はメール (kawabata@jiho.co.jp) にて送付いただきますようお願い致します。その場合の送料は、1ヶ所につき 500 円 (税込) となります。
- 4) 請求につきましては、いずれの場合も、貴会にてお取り纏めいただきますようお願い致します。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎
会長 白石恒明

上記書籍購入ご希望の方は、別紙にて 8 月 28 日 (月) までに当医師会事務局へお申し込みください。

小郡三井医師会宛(締切8月28日(月))

FAX73-1559

「透析患者への投薬ガイドブック 改訂3版」 申込書

1. 「透析患者への投薬ガイドブック 改訂3版」

申込部数_____冊

平成 年 月 日

医療機関名_____

公益社団法人 福岡県医師会 御中

株式会社じほう
大阪販売企画グループ
〒541-0044 大阪市中央区伏見町 2-1-1
TEL06-6231-7061 FAX0120-189-015
担当：川畑寿弘
E-mail:osakasales@jiho.co.jp

「透析患者への投薬ガイドブック 改訂 3 版」 発刊のご案内

謹啓 貴会におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は弊社刊行物に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では「透析患者への投薬ガイドブック 改訂 3 版」を発刊いたしました。本書は、1999 年の初版発行以来、CKD・透析患者の診療に関わる多くの医療従事者の「バイブル」として圧倒的な支持を得ています。投与設計のための基礎知識を最新の情報を基に解説した「総論」、掲載薬剤数を大幅に増やし、エビデンスとなる薬物動態のデータや関連論文をふんだんに盛り込んだ「投薬ガイドライン」が、臨床業務を強力にサポートします。

つきましては会員価格を設定いたしますので、貴会会員様へのご案内を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

謹白

記

1. 価格について

(価格は税込)

書籍名	判型／頁数	発刊	定価	貴会請求価格
透析患者への投薬ガイドブック 改訂 3 版	A5 判/1,124 頁	2017 年 6 月刊	8,640 円	7,780 円

2. 送付・ご請求について

医師会事務局様、及び各郡市支部医師会様への一括納品の場合、送料は弊社で負担致します。会員様個別発送をご希望の場合は、送付先リスト(会員様のご住所、電話番号、各書籍の部数等)をお送りください。データでいただけます時はメール(kawabata@jiho.co.jp)にてお送りください。この場合の送料は1箇所につき500円(税込)がかかります。また、いずれの場合もご請求につきましては各郡市支部医師会様でおとりまとめください。

3. ご注文先など連絡先について

ご発注は株式会社じほう大阪販売企画グループ宛に直接お申込みください。フリーダイヤル FAX 0120-189-015 をご利用ください。その他ご連絡は、株式会社じほう 大阪販売企画グループ 川畑(TEL06-6231-7061)まで宜しくお願い申し上げます。

● お申込先 e-mail:kawabata@jiho.co.jp / FAX:0120-189-015

以上

改訂3版

透析患者への 投薬ガイドブック

透析患者への 投薬ガイドブック

慢性腎臓病(CKD)の薬物治療

改訂3版

編著 平田 純生 (熊本大学薬学部教授)
古久保 拓 (白鷺病院薬剤科長)

Guidebook for Drug in Dialysis Patients

じほう

CKD・透析患者に対する 投薬バイブル

待望の改訂3版!

掲載医薬品数が大幅 UP!

編著 平田 純生 / 古久保 拓

定価(本体 8,000 円+税)

A5 判 / 1,124 頁 / 2017 年 6 月刊

ISBN: 978-4-8407-4975-6

医薬品添付文書には記載されていない情報がさらに充実

本書は、1999年の初版発行以来、CKD・透析患者の診療に関わる多くの医療従事者の「バイブル」として圧倒的な支持を得ています。投与設計のための基礎知識を最新の情報を基に解説した「総論」と、掲載薬剤数を大幅に増やし、薬物動態のパラメータやエビデンスとなる関連論文をふんだんに盛り込んだ「投薬ガイドライン」が、臨床業務を強力にサポートします。

〈取扱店〉

〈発売元〉

株式会社 じほう

<http://www.jiho.co.jp>

〒101-8421 東京都千代田区猿楽町1-5-15 (猿楽町SSビル)
TEL 03-3233-6333 FAX 0120-657-769

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2-1-1 (三井住友銀行高麗橋ビル)
TEL 06-6231-7061 FAX 0120-189-015

総論

透析による薬物の除去率

総論③ 各種血液浄化法と薬物除去に影響する諸因子

えながら、実際にHDによる除去率の算出に移りたいと思

薬物除去率の算出法

透析液中に回収された薬物量からの除去率

正確な透析除去率 (ER) 算出方法として、透析液中の薬物回収量 (A) を測定し、

$$ER = \frac{A}{C_0 \cdot V_d}$$

A: 透析液中回収薬物量 (mg), C_0 : 透析開始時血漿薬物濃度 (mg/L), V_d : 分布容積 (L) から算出する方法がある。しかしこの方法は、尿膜透析や血液濾過の排液からは容易に薬物量を測定できるが、HDでは回収される排液が100~150Lと膨大な量になるため、薬物の最低検出濃度が得られない薬物では測定が不可能となる。また、本章6の「透析膜への薬物の吸着」で述べる、透析膜と吸着する薬物は除外する必要がある。そこで計算式を用いて、薬物の除去量を算出する方法を紹介する。

(2) 計算式による除去率の算出

HDによる薬物の除去率 (ER) を次のように定義する。

$$ER = \frac{\Delta X}{X_0} \dots \dots (1)$$

X_0 : HD開始時体内薬物量 (mg), ΔX : 体内薬物変化量 (mg)

(算出法①)

最も簡単に除去率を求めるためには、図7に示す3ポイントの採血を行う。横軸に時間、縦軸に血中濃度。採血ポイント①、②、③を、非HD時に採血することで、非HD時に採血点①から、次の式により

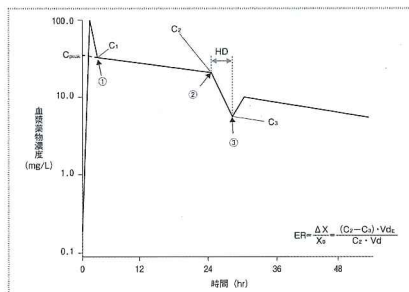


図7 透析除去率算出法①

$$V_d = \frac{D}{C_{max}}$$

ただし V_d : 分布容積 (L), D : 投与量、採血ポイント②の血漿薬物濃度 C_2 である。

$$X_0 = C_0 \cdot V_d$$

薬物治療の基礎となる
投与設計に関して、
最新の知見を盛り込み
詳細に解説。

24. 感染症用薬

(1) ペニシリン系

ベンジルペニシリンカリウム

ベンジルペニシリン系生物製剤

■製法 ペニシリンGカリウム固

■単位 20万単位/100万単位/V

■常用量 化膿性髄膜炎: 1400万単位を1日6回

点滴静注。感染性心内膜炎: 1400万単位を1日6

回点滴静注(最大1400万単位、3,000万単位/日)。

梅毒: 14000~400万単位を1日6回点滴静注。上

記を除く感染症: 14000~60万単位を1日2~4回静

注。

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■Vd 6.3~0.42L/kg⁽¹⁾⁽²⁾ 0.5~0.7L/kg⁽¹⁾⁽²⁾

■MW 372.48

■透析性 6~8hrのHDにより5~20%除去される⁽¹⁾ 除去される⁽¹⁾

■TDMのポイント 100ng/mL以上で中毒発現と

の報告あり⁽¹⁾ TDMの対応に留意

■O/W係数 LogP_{ow} -0.68(1-オクタノール/水系、

pH 6.0)⁽¹⁾⁽²⁾

■PKa 2.76

■特徴 抗菌力が強く、ペニシリン系産生菌による

感染に用いられる

■主な副作用・毒性 ショック、血球減少、腎不全、

SJS、TEN、紅斑、過敏性大腸炎、出血性腸炎、

など

■備考 100万単位中に59.8mg(1.33mEq)のKを

含有。1単位はベンジルペニシリンカリウム0.37

μgに相当

■アンピシリンナトリウム、

アンピシリン水和物(ABCP)

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

■用法 1日2~4回、前注。化膿性髄膜炎、感染性

心内膜炎、梅毒には点滴静注

CKD・透析患者への
最適な投与設計に役立つ
1,300を超える
医薬品データを収録。

キリトリ線

《申込書》

年 月 日

ISBN	書名	価格	冊数
978-4-8407-4975-6	透析患者への投薬ガイドブック 改訂3版 慢性腎臓病(CKD)の薬物治療	定価(本体8,000円+税)	冊

書店様番線印(書店申込)	<直接購入お送り先>		弊社より直送の場合 は送料を頂戴します。
	〒		
	ご住所		
	フリガナ 貴施設(社)名		
	部署・ご担当		
宛先 氏名	電話番号 ()	〒	[書店経由の場合] は直接この部分 を書店にお渡し 下さい。
宛先 氏名	電話番号 ()	〒	